

取扱いの趣旨

歯科医学的に必要な場合に投薬の算定は認められることから、「亜脱臼」又は「歯の亜脱臼」で投薬の算定は原則として認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《平成23年9月26日》

3 投薬

○ 取扱い

原則として、「亜脱臼」又は「歯の亜脱臼」病名で、投薬の算定を認める。

○ 取扱いを定めた理由

歯の亜脱臼であっても歯科医学的に必要な場合は、投薬を認める。

○ 留意事項

投薬する薬剤については、その適応や用法・用量を考慮して投薬すること。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

院内処方の薬剤又は処方箋料を算定しているレセプト1万件当たり、条件（亜脱臼又は歯の亜脱臼に対して院内処方の薬剤又は処方箋料を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、院内処方の薬剤又は処方箋料が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

請求どおり			: 取扱いどおり
査定 審査委員	査定 職員契機	返戻	: 検証が必要

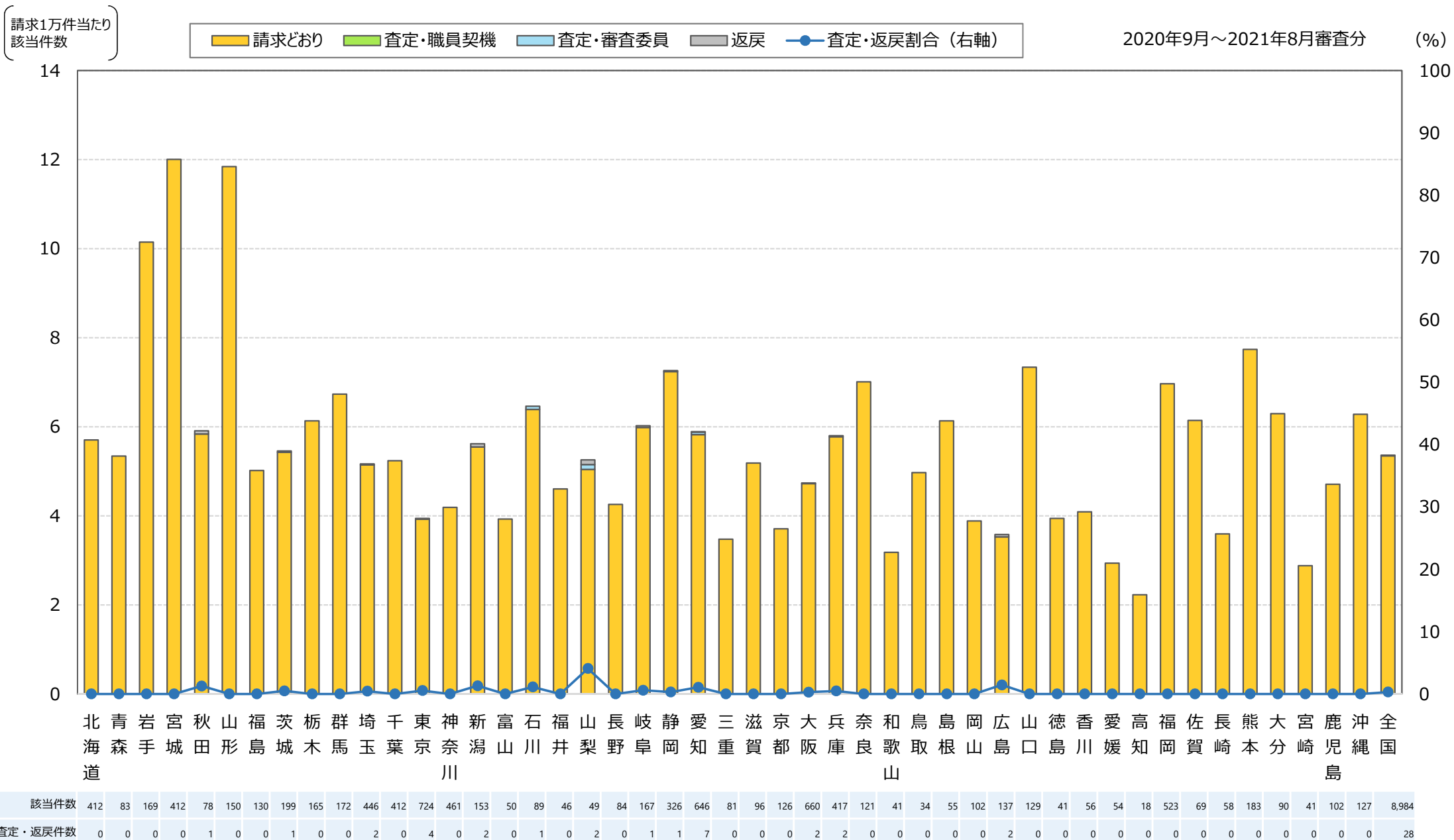
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 0.31%
- 検証を必要とする支部 13支部

検証観点	特に検証を要する支部	備考
査定・返戻割合が高い支部	山梨、広島、新潟、秋田、石川、愛知、岐阜	査定・返戻割合の高い順
査定・職員契機	—	
査定・審査委員	山梨、石川、愛知、埼玉	対象1万件当たり査定件数の多い順
返戻	山梨、秋田、新潟、広島、岐阜、兵庫、茨城	対象1万件当たり返戻件数の多い順
該当件数（全国）	亜脱臼又は歯の亜脱臼に対して院内処方の薬剤又は処方箋料を算定	8,984件
取扱いに基づく審査	請求どおり	8,956件
検証を必要とする審査	査定・返戻の計	28件

事例3 「歯の亜脱臼」に対する投薬の取扱い

【認める事例】



【該当件数】 亜脱臼又は歯の亜脱臼に対して院内処方薬剤又は処方箋料を算定しているレセプト件数